

明科いいまち通信

No. 39

安曇野市明科中川手6824番地1
明科支所：62-3001 明科公民館：62-4605

平成29年1月19日発行

明科いいまち通信
発行
豊科
いいまち通信

今月の明科の事業所・団体紹介

今回は

安曇野市明科芸術文化協会

です

会長

大月 典彦

○安曇野市明科芸術文化協会は芸術文化を愛する各会で構成され、会員相互の親睦を深め仲間の絆を大切にしながら活動しています。現在所属する会の総数は28(芸能部24、学芸部3)です。10代から80代と幅広い老若男女216名(子どもさん26名を含む)が在籍し、中でも女性の割合が多く、約76%と大半を占めています。芸術文化の名の下に様々な趣味の人々が集結した団体といえます。常に仲間同士がお互いを評価し、切磋琢磨して芸や腕、技を磨いています。歴史も長く平成27年4月に創立30周年記念式典を行いました。諸先輩方の築き上げられた功績が地道に認められ今日があると思います。また記念式典は5年毎に行われ、在籍15年以上または80歳以上の高齢者には功労者表彰もあります。

昨年6月のあやめまつりでは実行委員会が交流芸能発表会の企画開催に努め、活動は通算32回(合併後11回)となりました。全員で旧明科町町歌『わが町』を合唱、平林実行委員長長の発声で開幕しました。地域外への呼びかけにより豊科・穂高・三郷・堀金各地区唯一の芸能発表の場として更に親交も深めて盛大に終了しました。

○11月の明科地域文化祭(明科公民館主催)では芸能発表及び展示発表の企画開催に努めました。芸文協の会員を含め、日頃の練習(稽古)や作業(作成)の成果を地域住人が自由に発表する良い機会です。魅力ある催しの発表の場が順調に終了し安心しました。

○ボランティア活動にも積極的に参加しています。春夏秋冬または通年、施設により異なりますが、デイサービス等で計30日の活動を会員が協力し行っています。出前芸能を楽しみに待ってくださる入所者の方々の姿に深く感じ入り、会員も絆の尊さを実感しています。

明南小学校では9月の運動会の「全校ダンス」に向けて明科音頭の指導も務めました。一部の先生や1年、6年生を対象に体験学習の中で踊る楽しさと協調心を高めていただければと思いました。

○芸文協1番の悩みは高齢化により会員数が減っていることです。仕方なく退会することが増えており心配の種です。焦りながらもこの「いいまち通信」を通して宣伝させて頂きます。身体や時間を持て余している方、興味があり趣味を持ちたい方、お仲間を募って是非入会しませんか?大歓迎です!会員皆でお待ちしています!

《会員募集中》

- ・年会費 1,000円(中学生以下無料)
- ・芸能部会
各種舞踏・ダンス(社交・手話・よさこい)・
詩吟・大正琴・琴・オカリナ・和太鼓・
コーラス等
- ・学芸部会
和裁・木彫・織物



AKS
JC
03

明科公民館からのお知らせ

あかしなこうみんかんからのお知らせ

3月

JC
03

March

Akashina

1月

January

1月 明科いいまちサロン

日時 1月31日(火) 午前10時から正午

場所 明科公民館 講堂

講師 明科中学校長 古幡 栄一 先生

参加費 300円(お茶うけ えごまもち)

気持ちの良い挨拶をしてくれる明科中学生は明科の宝です。古幡校長先生の子どもたちに寄せる熱い思いを、今の学校現場の様子と共にお聞きしましょう。



明科の魅力再発見講座

『倉科多策と信州サーモンの未来』

日時 2月9日(木) 午前10時~0時15分

場所 明科公民館 講堂

講師 安曇野市文化課職員 大澤 慶哲さん

長野県水産試験場長 小原 昌和さん

申込 1月23日(月)~27日(金) 明科公民館に電話で申し込んでください。

先着50名様 [Tel: 62-4605] 受講料として200円が必要になります。

明科駅誘致と開設に尽力し、ニジマスの養殖の基礎を築いた倉科多策の紹介と、県水産試験場のニジマスと信州サーモンのお話を聞きます。信州サーモンの試食も行います。



こんにゃくづくり講座

日時 2月7日(火) 午前9時~正午

場所 明科公民館 調理実習室

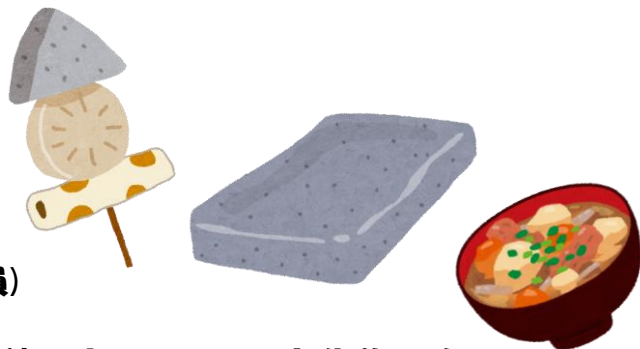
講師 望月 亮子さん

(JA松本ハイランド 暮らしの専門委員)

参加費 500円(受講料200円含)

申込 2月2日(木)3日(金)に電話で明科公民館へ [Tel: 62-4605] 先着25名

あかしな農業塾で育てたこんにゃく芋を使い、手作りこんにゃくを作ります。



平成28年度 あやめ杯ワンバウンドマッチ 参加チーム募集!!



とあおう!!>

日時 2月26日(日) 開会式午前9時より (受付 8時30分)

場所 明科体育館

対象 市内に在住・在勤・在学している中学生以上の人で構成されたチーム

申込 各地区公民館に備え付けの申込み用紙に記入して、明科公民館へ提出。

詳細は、備え付けの大会要項・規則を確認ください。

明科たからまつり (つぼみ)

四季彩る名所龍門渚 その②



龍門渚の北の一角には町民期待のナイター照明付運動広場が昭和51年に完成(ナイター照明は昭和52年に完成)し、早朝から夜9時30分ころまで屋外での運動が可能となり、現在でも多くの人たちに利用されています。それまでは中学校の校庭で行われていた町民体育祭(運動会)や早起き野球も、華々しく龍門渚運動広場で行われています。この運動広場整備にあたっては小生も思い出があります。当時、この湿地帯の土地に広場を建設するには大変な土盛りをしなくてはならず、その土砂の確保を必要としたのですが、たまたま東川手峰方の俵沢地籍に大きな地滑りの土砂災害が発生し、その災害復旧治山工事が施工するには土砂排除が必要となり、それが町の運動広場建設の計画と合致したため、その発生土を埋め立てて運動場を整備、治山や林道の復旧工事の測量や設計に携わらせていただきました。

現在でもあの運動広場の水捌けがかなり良いことに関しては、そのとき設計に携わった一員として自負できるものです。ただ、Bコートライト側がもう少し長くとれば良いのですが、犀川や前川の影響で変則的グラウンドとなっているのが残念なことでもあります。もうひとつ龍門渚で忘れてはならない動きとして「前川カヌー」があります。松本市のカヌー愛好家大沢勇治さんらカヌー愛好者が水量が安定している前川はカヌーに最適と、町や県に働きかけカヌーコースが整備されました。毎年6月にはあやめ祭りに併せて「にじますカップ・カヌーラローム大会」が開催され、平成23年8月には第32回北信越国民体育大会なども開催されています。昨年リオデジャネイロオリンピックカヌー競技で、日本人初の銅メダルを獲得した「羽根田

卓也」選手も小学生のころからの地に親しんでおり、昨年9月25日にはメダルを掲げホームリバーへ凱旋し、多くの人たちにメダリストの巧みで力強いパドルさばきを披露しました。安曇野市は、この龍門渚前川のカヌーコースを拠点にし、2020年東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンに登録されました。今から姉妹都市であるオーストリアのカヌー選手を招いた交流が楽しみです。また、龍門渚公園多目的広場は、当町出身で人間国宝の故青木正二郎さんの働きかけによる薪能の公演が平成2年より毎年8月行われ、安曇野花火大会と共に夏の風物詩となっています。残念ながら開催場所の都合により、昨年からは明科から離れてしまいましたが、早い時期に戻ってきて、再び幽玄の世界へいざなってくれることを祈っています。皆さんも四季が織り成す美しい龍門渚を、家族や友人と味わってはいかがでしょうか・・・

史塾 出水庵 永峰



新しい年を迎えて



明科いいまちつくろうかい

代表 内川勝治

皆さん明けましておめでとうございます。ご家族お揃いで、輝かしい新しい年をお迎えになったことと存じます。昨年は会員の皆さんは元より、市民の皆さんのご理解、ご協力を賜り会の目的に沿った活動を行う事ができました。

会の活動を活発に行う為、活動部会の他事務局体制を強化して参りました。会員参加によるワークショップにより、会員の関心が高い、知っている事業を具現化することとし、四プロジェクト（PJ）[ウォーキング・いいまちサロン・あやめまつり・写真コンテスト]を実施することに決定し二十八年度が始まりました。

昨年に引き続き安曇野市のつながりひろがる地域づくり事業補助金を申請し、事業の拡大を図りました。補助事業の具体的な内容として

- ① 市民を対象とした明賀の歴史を探访する里山ウォーキングを実施し、三十名の参加をいただき、今や廃屋となった集落の歴史に想いを馳せこの地の宝と言うべき文化遺産を巡りながら文化財を守り続け語り継ぐ大切さを感じたことと思います。
- ② 写真コンテストを通じ明科地域の風景の美しさや地域のイベント等を広くPRし、住民相互の交流を深め、明科地域の良さを再認識し地域の活性化につなげる事業として開催したところ、三十九名の参加、七十五点の応募をいただき夫々甲乙付け難い作品でありましたが、最優秀賞一点優秀賞三点入選五点を選び、明科地域文化祭に表彰式を行い、会場へ展示させていただきました。

昨年は、ワークショップに於いて決定した行事を具体的に実施する為各PJ別に企画立案し、会員の全員参加を目標に事業を行うこととしました。サロンPJに於いては、毎月末火曜日にお茶うけ付きの「いいまちサロン」開催（交流と学び・地域課題に目を向ける場）また、五月から毎月第二火曜日に「あやめカフェ」の開催、あやめまつりPJでは、あやめ公園の草取り・株分け・植付（十回・延べ参加人数七十五名）実施、リーリオグズ（マフラータオル）の製作、ロゲイニングの受付・おもてなし・イベントへの参加等、ウォーキングPJでは、新緑ウォーキング参加・歩いて楽しいPJ主催のウォーキングの参加等各PJ会員が積極的に盛上げていただきました。特にあやめまつり前の除草・清掃作業には、明科高校生（百二十名）・明科中学生（二十七名）・会員・商工会女性部・市職員を含めて総勢二百十余名の参加をいただきました。

二十九年度の事業について、現在ワークショップを通じて何を実施するか協議中で有り、各PJの昨年の事業総括・反省を踏まえて、組織の再編成及び実施内容の検討・強化、行事への全員参加を目標に置き、ホームページでの情報発信の充実を図り、会員は元より市民の皆様からのご意見・ご感想をいただければ幸いです。

安曇野の東玄関に位置し豊かな自然に恵まれているこの明科に於いて地域に誇りと責任を持ち、いきいきと心豊かに暮らせる地域を目指し、この活動に賛同していただける皆さんと共に、明るい展望を抱きながら協働のまちづくりを進めて参りたいと思います。多くの皆さんの入会（募集中）をお待ちしております。

インフルエンザ・ノロウイルスの発生が各地に於いて報道されており、くれぐれもお体にご自愛願ひ、楚辞ではありますが、年頭の挨拶に代えさせていただきます。

編集後記

・1月20日は『大寒』。かつては長野県の小・中・高等学校は寒中休みがありました。風邪やインフルエンザの流行もストップできるし、何よりも、平日のすいているデイズニールランドで思いっきり楽しむことができました。・・・今は寒中休みもいらなほど温暖化ですかね（す）

・今年も西年。いろいろな鶏料理を食べ歩きしようと思います。山賊焼き、フライドチキン、焼き鳥、フォアグラなど・・・鳥の崇りで鳥インフルエンザにかかりそうです。（や）

・二年連続、年越しの瞬間は移動手段の中で過ごしてしまいました。初詣は諏訪大社に行かせていただいたのですが、到着した時には、参拝客は私を含めて五人と言った状態でした。最初に躓きましたが、最初がだめなら後は良い事しかないと思うことにして、今年も頑張ってください。いろいろ思いますので、よろしくお願ひいたします。（う）

